

道徳通信

～「アイツとオレ」～

愛西市立八開中学校
令和4年5月12日
1年生の授業

対照的な性格の二人の生徒の対話を描いた漫画を通して、人とわかり合うために必要なことは何かを考えました。

自分と成績やスポーツが同じぐらいの「アイツ」にライバル心を燃やす「オレ」。友達の数や目立つかどうかなど、全てをアイツと比べてしまいますが、アイツが余裕をもっているように見えることに腹を立てています。ある日、アイツはオレに、『クラスのある子に嫌がらせをするのはやめろ』と話しかけてきました。オレは、アイツの正論と、アイツも『自分はすごいのだと見せつけたいと思うときがある』と言う（アイツの）言葉に、何も言い返すことができませんでした。「オレ」は、これからどう変わっていくのだろう・・・

●● ●● さん

嫌い（苦手）な人を毛嫌いするのではなく、そのことも自分が受け入れないといけないと思った。

●● ●● さん

心の幅を広げ人と接することを大切だなと思った。これから心がけたい。

●● ●● さん

人と分かり合うためには、周りの人の気持ちを考えて、思いやりをもつことが大切だと分かった。これから、思いやりの心を持って過ごしたい。

●● ●● さん

ライバルがいて対抗心を燃やすのはいいことだけど、それで人をいじめるのは良くないことだと思う。思いやりを持てるようになりたい。

●● ●● さん

自分を認めてもらおうと、人と楽しく関わりあえらと思う。他の人からの意見などもしっかり聞いて、他の人と関わり合えるようになりたい。優しく接することができるようになりたい。

●● ●● さん

自分は自分、だから無理に相手と差をつけようとなんかせず、相手を認め、自分らしく居る。

●● ●● さん

「頼れるリーダー」についてもう一度考え直して、他の人と分かり合えるようにするために努力したいと思った。

●● ●● さん

アイツは人のことを認めていたから余裕そうで大人っぽかったんだと思った。オレはずっと必死そうだったけれど、きっとこれから人を認めて余裕が出てくるのだと思う。私もアイツのように人を認めて大人っぽくなりたい。

●● ●● さん

人と関わり合うためには広い心を持つことが大切だと思った。すぐに対抗心をもたないようにしたい。

●● ●● さん

差別しないということは、相手を認めること。そういう人もいることを、わかることが大切だと思った。

●● ●● さん

「アイツ」は正しいことを自信を持って人に言えてすごいと思った。

●● ●● さん

自分にも今回の「オレ」のように対抗心があるときがあるとおもったから、広い心を持って人と接していきたいと思ったし、優しい心でずっといたいと思った。また、人とわかり合うために大切なことは自分から笑顔でやさしく話しかけることだと思った。

道徳通信

～「アイツとオレ」～

愛西市立八開中学校
令和4年5月24日
2年生の授業



対照的な性格の二人の生徒の対話を描いた漫画を通して、人とわかり合うために必要なことは何かを考えました。

自分と成績やスポーツが同じぐらいの「アイツ」にライバル心を燃やす「オレ」。友達の数や目立つかどうかなど、全てをアイツと比べてしまいますが、アイツが余裕をもっているように見えることに腹を立てています。ある日、アイツはオレに、『クラスのある子に嫌がらせをするのはやめろ』と話しかけてきました。オレは、アイツの正論と、アイツも『自分はすごいのだと見せつけたいと思うときがある』と言う（アイツの）言葉に、何も言い返すことができませんでした。「オレ」は、これからどう変わっていくのだろう・・・

●● ●● さん

相手を認めて、自分の間違いを認めて、行動を見つめ直そうと思った。分り合うためには、相手と友達になって、支えていく気持ちがいると知った。

●● ●● さん

自分が間違っていることをきちんと認めることが大切だと思いました。

●● ●● さん

人とわかりあうためにはまず相手の話に耳を傾けることが大切だと分かった。私もお互いを高め合えるような人と友達になりたいと思う。

●● ●● さん

相手の気持ちを話せることがすごいなと思いました。オレとアイツは友達になりたいのかなと思いました。

●● ●● さん

意見を言い、意見を認め合うこと。

●● ●● さん

自分に合わない人がいるのはしょうがない。だけど、その人ともうまく関わっていかなければならない。お互いを高め合っていける関係になればいいと思う。

●● ●● さん

間違いを指摘されたときに素直に聞こうと思った

●● ●● さん

自分と合わない人がいることは、仕方がないと思う。だけど自分と合わない人でもその子を懂れる心は忘れてはいけないと思う。

●● ●● さん

ライバルは、自分のできないことができるから、それでライバルに追いつこうと思って、苦手なことが得意になっていくから、ライバルがいていいと思った。

●● ●● さん

本当にその人のことが大事ならいべきだと思う。私も言えるようになりたいと思った。

●● ●● さん

人と分りあうためにはお互いに切磋琢磨する事が大切だと思う。ライバル同士で高め合うことは難しいかも知れないけれど、お互いに成長するには良い関係を築くのが必要だと思った。

●● ●● さん

お互いを理解する。相手の気持ちを考える。

道徳通信

～「アイツとオレ」～

愛西市立八開中学校
令和4年5月30日
3年生の授業

 対照的な性格の二人の生徒の対話を描いた漫画を通して、人とわかり合うために必要なことは何かを考えました。

自分と成績やスポーツが同じぐらいの「アイツ」にライバル心を燃やす「オレ」。友達の数や目立つかどうかなど、全てをアイツと比べてしまいますが、アイツが余裕をもっているように見えることに腹を立てています。ある日、アイツはオレに、『クラスのある子に嫌がらせをするのはやめろ』と話しかけてきました。オレは、アイツの正論と、アイツも『自分はすごいのだと見せつけたいと思うときがある』と言う（アイツの）言葉に、何も言い返すことができませんでした。「オレ」は、これからどう変わっていくのだろう・・・

●● ●● さん

分かり合うことは相手のことで知っていることを増やしたり相手のことを認め合ったりすることだと思う。だから、自分のことを伝えたり相手から相手のことを聞いて知っていることを増やしたりして相手を認めることが大切だと思った。

●● ●● さん

互いを信頼し、高め合っていくことが大切だと思った。「オレ」は「アイツ」を裏では単純に羨ましいと思っていたから、嫉妬して嫌がらせをしていたのかなと思った。私もクラスメートの人たちを羨ましいなと思って、負けたくないと思うときもある。でも、分かり合うために、決して恨まず信頼していきたいと思った。

●● ●● さん

人と分かり合うためには自分のことをしっかり見直すことが大切だと思った。自分も人のことを思いやれる人間になり、憧れられるようになりたいと思った。

●● ●● さん

僕は人との分かり合いのためには、相手の気持ちを考えることがとても大切なことだと思う。

●● ●● さん

人とわかり合うために必要なことは、相手の意見や自分の悪いところを認めるということかなと思った。まずは素直に認めて、なぜそう思ったのかを聞いたり、自分悪いところをどうやって改善していけばいいかを考えればいいと思う。いろんな人の意見を認めることで、いろいろな視野が広がるのではないかとおもった。

●● ●● さん

人と比べるよりも、自分の目標を目指せばいいと思った。

●● ●● さん

誰にだって人と人で共感する部分もあるしもちろんライバル心を抱えることもあると思うけど、そんなことも分かり合えるように接していきたい。

●● ●● さん

いろんな立場から物事を考えるのが、いろんな人と分かり合うのに大切だと思った。

●● ●● さん

自己満のためだけに行動するのではなく周りが嫌な気持ちにならないようにするのも大切だなと思った（自分を優先しすぎない）。

●● ●● さん

自分が自分がってならないようにして、人の言っていることに耳を傾ける。

●● ●● さん

自分と誰かを比べるのではなく、自分を見つめなおすことが大切だと思った。自分の立場を知ることの必要なのかなと思った。